



上天建第58号
平成19年5月1日

国土交通省道路局長
宮田年耕様

熊本県上天草市長 川端祐樹



中期的な計画の作成にあたっての意見書の提出について

貴職におかれましては、日頃から道路事業に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本市は、平成16年3月31日に、旧大矢野町、松島町、姫戸町及び龍ヶ岳町の4町合併により上天草市として発足いたしました。

上天草市は、熊本県の西部、有明海と八代海が接する天草地域の玄関口に位置し、天草諸島に浮かぶ大矢野島、上島、その他の島々から構成されています。

市勢は、面積125.98平方メートルを有しており、東西約15.0キロメートル南北約28.0キロメートルにわたり広がっており、12,297世帯で人口33,974名有しております。

行政施策全般にわたっての基本的な取り組みとしまして、1・安心・快適な暮らしづくりへの挑戦、2・生きがいある働き場づくりへの挑戦、3・責任ある環境・基盤づくりへの挑戦をテーマにまちづくりを推進しております。

上天草市の街づくりを進めるうえでは、今後も国御当局のご支援がぜひとも必要でございますので今後ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

貴職からご依頼がありました、中期的な計画の作成にあたっての、今後の道路政策や道路の整備・管理につきまして下記のとおり意見を述べさせていただきます。

記

1 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

地域間格差への対応や住民生活重視の視点を踏まえつつ、地方の活性化や自立に必要な地域の整備や渋滞解消のためのバイパスの整備、高速道路・高規格幹線道路や高次医療施設への広域的アクセスの強化など地域の自主性にも配慮しながら適切に整備する。

- (1) 新天草1号橋(仮称)を含む熊本天草幹線道路整備区間の早期完了及び、調査区間・未指定区間の整備区間への早急な格上げと整備。

(2) 八代天草架橋及び島原天草長島連絡道路（三県架橋）の早期着工。

2 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

個別事業の予算の集中投資を行い事業期間の短縮を図り、事業効果を早期に発揮させる。

3 その他、道路政策や道路の整備・安全管理に関する意見

地方の道路は唯一の公共交通機関であるバス路線となっていることが多く、自然災害や交通事故等が発生した場合都市部の道路網と比較すると迂回路もなく住民生活に大きな影響がある。地域の幹線道路とのアクセス道路の整備が必要と思われる。

天草地域は、八代海・有明海に面しており台風の常襲地帯であることや地形的にかげ崩れ・山崩れ等自然災害の発生が予想されることから、災害に強い・防災機能を備えた道路の整備が望まれる。